



公民館報

海陽

7月号
No.97

文化村HP
QRコード



QRコードに
アクセスすると
海南文化村HPが
閲覧できます。

海陽町教育委員会 2023年7月1日発行



文化村祭 子どものためのショータイム「パントマイムとアコーディオン」
(5月4日 海南文化村芝生広場にて)

2023 阿波海南文化村祭

5月3日～4日開催

両日ともに穏やかな春の陽ざしに包まれ、DMVのお客様や家族連れ等1,100名余りの来場者が訪れ、たいへん賑わいました。3日には文化館ホールで映画上映会（『ミニオンズフィーバー』）があり、たくさんのお子どもたちが鑑賞しました。翌日の4日には、芝生広場で「カラダとあそぼう！＝パントマイム」、中庭で「あそびがカラダをつくる！＝パルクール」、工芸館での藍染や、文化村内で縁日、科学教室、チャレンジ防災、移動図書館と盛りだくさんの催しが行われ、大盛況でした！！



縁日（スーパーボールすくい、くじ引きなど）



チャレンジ防災
（けむり体験をしよう！）



化学工作教室（風船ホパークラフトを作ろう！）



藍染め（パンダナをそめよう！）



▼「パークールに挑戦!」△



移動図書館



文化村(三幸館)



文化村(長屋門)



第18回

海陽町文化協会祭作品展示

5月3日～7日開催

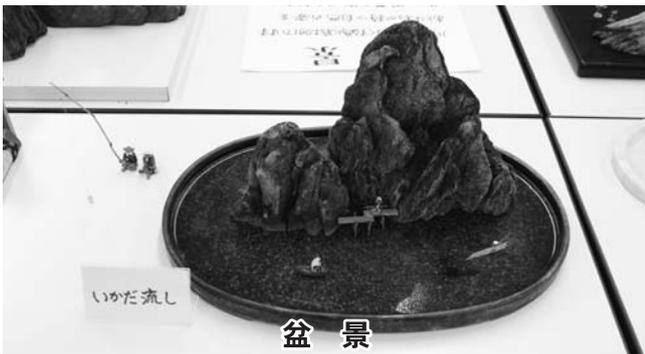
本年度は、阿波海南文化村の海南文化館と工芸館の2会場で文化協会会員の方々の作品展を開催しました。会場には写真、俳句、水墨画、書道、絵画、絵手紙、盆景、文人水墨画の8つのジャンルの作品が並び、心を込めて創り上げられた作品は、町内外から来られたお客様の目を楽しませていました。



文人水墨画



書道



盆景



絵画



俳句



写真



水墨画



絵手紙

令和5年度 海陽町文化協会ギャラリー展示予定 於 工芸館第2工房

※月曜休館（但し、月曜が祝日の場合は翌日休館）

年・月	展示開始日		展示終了日		展示作品	登録団体	備考
令和5年 4月	4月1日	土	4月30日	日	休 み		
5月	5月2日	火	5月31日	水	文人水墨画	海南文人水墨画 教室	文化協会祭 文化村祭
6月	6月1日	木	6月30日	金	染 色	染色サークル 陽	
7月	7月1日	土	7月30日	日	水墨画	松原水墨画教室	
8月	8月1日	火	8月31日	木	書 道 俳 句	さつき会 海南俳句会	
9月	9月1日	金	9月30日	土	写 真	海南カメラクラブ	敬老会
10月	10月1日	日	10月31日	火	文人水墨画	海南文人水墨画 教室	
11月	11月1日	水	11月30日	木	染 色	染色サークル 陽	文化祭 文化村祭
12月	12月1日	金	12月28日	木	水墨画	松原水墨画教室	
1月	1月4日	木	1月31日	水	書 道 俳 句	さつき会 海南俳句会	
2月	2月1日	木	2月29日	木	写 真	海南カメラクラブ	
3月	3月1日	金	3月31日	日	文人水墨画	海南文人水墨画 教室	

※どなたでも文化協会会員の作品を見学できます（観覧無料）。ぜひ、感想をお書きください!!

地域コミュニケーションの中で

―様々な体験や触れ合いの場において―

社会教育指導員 小泉 博

田に広がる稲も大きく育ち、頭(こうべ)を垂れるのを楽しみに、初夏の爽やかな香りを感じながら散歩を続けている。

先日、「断捨離(※注1)」の精神で生活しようと、全て捨てることを前提に家の片付けを行った。子どもも巣立ち、私も時間にゆとりが生まれたためである。始めは簡単に考えていたが、いざ片付けを始めると、家中の押し入れや倉庫から、次々と想定を大幅に超えてものが出てくる。

それでも一気に進めようとするが、手を止めてしまう時がある。特に子どもの記録に関するものは、懐かしみ一つ一つ見入ってしまう。この機会にと強い気持ちで臨んだが、メルカリに出すほどのものでもなく、捨てる決心もつかず、捨てるものと残すものと分類する手間が生まれた。何日かに分けてひとまず片付いたように見えるが、

外倉庫内の一角に、残す物として選ばれしダンボール箱二十数箱が積み上げられている。いつの日、誰がこの箱に手をつけるのだろう。

生活を続けていくと、思い出とともにたくさんモノが積み上がっていく。幾度も癒やされる思い出のモノもあれば、自分のしたことでいつまで経っても悔やまれるモノや、忘れてはいけない苦い思い出のモノもある。



ただ、自分自身の判断やしたことであれば納得せざるを得ないが、自分の力ではどうしようもないこともある。例えば、「あなたはくだから。」「昔からしているから。」「みんなが言っているから。」。多数派(マジョリティ)の流れの中に自分を置き、責任を多数派のせいにし、大切なことを見過ごしてはいないだろうか。そう考えていると、徳島新聞『藍がめ』コーナーに私自身はつとさせられる記者のコラムが掲載されていた。

『ヘイトスピーチ、被差別部落、ジェンダー、LGBTQ(性的少数者)・・・社会に根強く存在する「差別」をどう報道していくのか。差別問題について、ある記者は「社会の構造の問題だ」と指摘した。

日本は差別を禁じる法律はなく、差別を止める構造がない特異な社会だという。様々な差別も「許さない」とするものの強制力はない。インターネット上には偏見に基づく間違った考えがあふれ、歯止めがきかない。

差別を伝える側の課題も残る。別の記者は差別問題を取材した

際、「差別問題は差別された者でなければ当事者じゃないのか。」と問われ、はっと気付かされたそう。多くの人は無意識に、自分にふりかかる問題ではないと感じている。自身も多数派(マジョリティ)に紛れ、差別を見過ごしてきたのではないかと反省した。

「取材を続けているのは当事者のためではなく、マジョリティの責任だ」と語る記者の言葉に共感した。何が差別なのか理解し、差別を差別だと言える人間でありたい。(徳島新聞記事より)『様々な人権問題は、対岸の火事ではなく、日常生活の中で常に自分とかわわっている。人権意識を持ち、少数派の声もしっかり受け止められ、安心・信頼の中でつながり合える地域コミュニケーションでありたい。』

次ページは、小学校5年生の「ひかり」に掲載されている文章です。一読していただければ幸いです。

(※注1)「断捨離」：単に不要な物を処分するだけでなく、物にとらわれずに生きていこうとする考え方。

わたしを大切にすること
ひとを大切にすること

じぶんのからだを
冷たかったら
ひとのからだを
暖められないように
じぶんのこころを
ギスギスしていたら
ひとのこころを
受けとめられないように
じぶんの部屋が
ちらかっていたら
ひとをその部屋に
入れられないように
自分を大切に
感じられなかったら
ひとを大切に
するのはむずかしい
まわりがみんな
敵にみえたとき
いつものように「おはよう
って言うてくれた
そのひとの音が
暖かかったから



わたしも だれかに
あなたは
ひとりじゃないって
伝えられるようになりたい
ひとからもらったカケラを
大切にすることは
ひとにさしだすカケラを
大切にすることとおなじ

傷つけられているひとを
だまってみていたら
そのひとだけじゃなく
じぶんの誇りも
傷つけることになる
じぶんを大切にできる
ひとになりたい

じぶんを大切にできる
ひとが
ひとを大切に
できるひとだから
(人権の絵本「じぶんを大切に」
大月書店より)

ちがうこと ばんざい

私のまわりには
いろいろな人がいる

男の人 女の人
背の高い人 低い人
遊びの得意な人 苦手な人
声を出して 話す人
声を出さずに 話す人
松葉づえをついた人
車いすに乗った人



みんな いっしょに
それぞれ ちがった生き方を
している

みんな顔が同じなら
考えていることが同じなら
することも同じなら
ちっともおもしろくない

君の代わりは
だれもない
ぼくの代わりは
だれもない

みんなちがうから
ひとりひとり
たいせつな人間なんだ



自分も人も
たいせつな人間なんだ

世の中には
いろいろな人がいて
いろいろな考えが
あるって「ことを
それぞれ 特ちょうをもった
生き方があるってことを
ひとつ ひとつ

知っていきながら
人間は大きくなって
いくんだ
そして

深くなっていくんだ
みんな ちがうから
すばらしいんだ

(奈良県同和教育研究会編
「なかま」より)

【参考文献】
徳島県小学校人権教育研究会
「ひかり5年」

わが町の史跡探訪

須佐之男のまち海陽

阿讃古史伝は、乃一辰治さんが、^{注)きき}記紀、^{ろくぶのしょ}平安の六部書（国史資料）及び中国正史二八書のうち、日本古代史研究上、欠かすことのできない最重要史料、^{ぎしわじんてん}○魏志倭人伝、^{こうかんのしよわでん}○後漢書倭伝、^{そうしよわこくでん}○梁書倭国伝、^{ずいしよわこくでん}○隋書倭国伝などを根拠に据え、偽りに埋もれた日本古代史の謎を見事に解明し真実の日本古代史の姿を鮮やかに復元した記紀実録正実の一片を綴ったのが阿讃古史伝の要旨です。

本書は、阿波讃岐両国における考古学的な発見や地名の解説、風土、地形、文化、歴史などを分析し検証を加えた乃一さんが持つ慧眼で、^{注)けいがん}邪馬臺国が一字表記の^{注)やまとのくに}阿波倭国と説き、前記四書の倭国伝や記紀は阿波倭（^{注)やまとのくに}邪馬臺国）一国内の歴史的伝承記録であると結論付けています。

古代の歴史や記紀神話（2～3世紀）は、私たちの郷土文化の^{おおもと}大元であります。本書がわが町の古代史に新たな視点をもたらし、郷土の歴史や文化を深めるきっかけとなることを期待しております。

阿讃古史伝は、海南・宍喰両図書館にそれぞれ寄贈していただいておりますので、是非読んでください。

乃一さんのコメントの中にある日本建国礎の英雄神である^{すさのおのみこと}須佐之男命が、太古和奈佐（現海陽町）に居住していたことを裏付け立証する四大旧跡を巡って、古代ロマンの息吹を体験されてみてはどうでしょうか。

【同書の著作者 乃一辰治さんのコメント】

弥生の末、橘湾の南の入江^{おど}元小戸^{注)あねぎみこうそ}後戸^{注)こうたん}で姉君皇祖と共に降誕された荒海の支配者・^{注)わなさ}須佐之男命が和奈佐（^{注)おふそ}海陽町）の大父祖として、千八百年前に蟠踞した事を証する海陽の四大旧跡こそ海陽最高の最重要文化遺産にして世界に誇れる海陽文化の神髓且つ日本国史の^{注)えんげん}淵源である。この古代脚光を浴びた栄えある郷土海陽を全国にそして世界に知らしめる為、記紀時代の日本列島常陸国（茨城県）から薩摩国（鹿児島県）迄の主要図書館に寄贈した阿讃古史伝の内、日本一の国立国会図書館の資料検討委員会が、日本国民共有の文化的資産と認定し、永年に保存して広く公共の利用に供するとの旨の受領書が自宅に送られて来たが、^{しか}然し、この二巻の書を海陽おこしの起爆剤として世界に^{はばた}搏く海陽を実現させるか否かは、将来海陽を預かる町長の先見力、構想力、発信力、実行力、経営力しだいであると語られております。



〈前編〉



〈後編〉

海陽の四大旧跡 (説明は阿讃古史伝による)



㊦ 弥生の末須佐之男命が拓いた芝遺跡 (海陽町芝) ㊦ 須佐之男命が葬られた寺山三号墓の看板 (芝遺跡南二百米)

注) あしはらのなかつくに ながのくに しそ
 葦原中国(長国)の始祖
すきの おのみこと
 須佐之男命を祀る式内
わな さおふそ
 和奈佐意富曾神社
 (㊦ 鞆の大宮山 ㊦ 海陽町松原)



㊦ 日本三大祇園の筆頭神格正一位祇園牛頭天王(須佐之男命)を祀る。
 穴喰祇園社は、平安の長承(1132~1135年)の頃すでに祀られていた古社
 ㊦ 穴喰祇園神社
 (㊦ 八阪神社 ㊦ 穴喰町)

注) 記 紀 : 古事記と日本書紀の略称
あまてらすおのみかみ やまと ひみこ
 姉君皇祖 : 天照太神 即阿波倭の女王 卑弥呼(188~248)
 降 誕 : 神・仏・聖人が生まれること。
 和 奈 佐 : 奈佐 和銅6年5月に二字表記に改められた。
 蟠 踞 : その土地に勢力を張って動かないこと。
 神 髓 : 事物の本質 (奥義)
 淵 源 : みなもと

葦原中国(長国) : 小松島・阿南の2市及び
 勝浦・那賀・海部の3郡
 阿波倭国 : 徳島県
 慧 眼 : 物事の本質を見抜くすぐれた眼力

阿讃古史伝は 国立国会図書館サーチで検索できます
 URL : <http://iss.ndl.go.jp/>

「初めての方向のための読み聞かせ講座」を開催



「絵本の読み聞かせ『にも』の会」が、5月18日(木)と28日(日)に海陽町立海南図書館2階で「初めての方向のための読み聞かせ講座」を開催しました。絵本専門士の渡邊美恵さん(2023年3月まで海南病院で内科医としてご勤務)が毎年、県立図書館で実施している内容で、絵本の紹介と読み聞かせをしながら選書のポイントや、絵本の読み方などをお話されました。大人もワクワク、絵本の世界を楽しむ講座となりました。

☆選書のポイント

- ・色使いがはっきりしているもの、遠目がきくものを選ぶ。
- ・「はみがき」や「うんち」など、子どもが生活の中で体験しているものはわかりやすく面白い。
- ・「4才から…むき」と本の裏表紙に記載されている場合、3才以下の子どもに読んでも楽しめる。上の年齢は無制限でよい。
- ・漢字表記はフリガナがあっても習う学年以上にする。
- ・10分以内で読めるものが多い。長いものは飽きてしまう。etc…

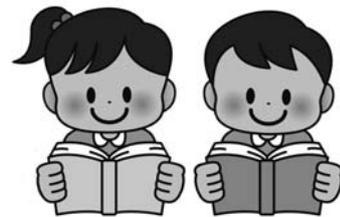
☆読み聞かせの技術

- ・聞こえないと面白くないので声の準備(発声練習)をする。
- ・十分に下読みをしておく。(「間」をとるところ、ページをめくるタイミング)
- ・ことばや絵から場面をイメージして、状況に合わせた読み方をする。感情を乗せず淡々と…という意見もあるが、作家の思いや自分の感情も少し乗せて読んで欲しい。ただし、やり過ぎには注意。声色は無理に変えなくていい。自然に、お話を届けるつもりで。(紙芝居は、役になり切って読む。)
- ・絵本はしっかり、まっすぐに持つ。本文が縦書きなら絵本を左手に持ち、右手でページを送る。横書きなら右手で持ち、左手でページを送る。

読み聞かせでみんなHappy♡

子どもたちと一緒に絵本の世界を楽しみましょう!

私たちと一緒に絵本を手にとって読んでみませんか?
「絵本の読み聞かせ『にも』の会」では一緒に活動をしてくださる方を随時、募集中です。



【主な活動】

海南図書館「おはなし会」・海南小学校「絵本の読み聞かせ」・ブックスタートなど

【お問い合わせ先】

「絵本の読み聞かせ『にも』の会」代表 幸谷友子 TEL090-5131-1718

海陽町体協杯バレーボール大会

4月16日(日)
於：海陽中学校体育館



準優勝した穴喰クラブの選手の皆さん

決勝	WAK 2 那賀	2 - 1	穴喰クラブ
----	----------	-------	-------

	チーム名	セット	チーム名
1 試合目	穴喰 クラブ	1-2	WAK2 那賀
2 試合目	藍住 レディース	1-2	海南 ひまわり
3 試合目	WAK2 那賀	2-0	K・ club
4 試合目	穴喰 クラブ	2-0	藍住 レディース
5 試合目	K・ club	2-0	海南 ひまわり

海陽町体協サーフィン部 NEWSと試合結果

2023年4月～

* 2023年強化指定選手 及び 2024パリオリンピック特定強化指定選手 選出決定！

日本国内でのサーフィン組織 日本サーフィン連盟(NSA)が日本プロサーフィン連盟(JPSA)との協議の上 2023年強化指定選手 78名 及び 2024パリオリンピック特定指定強化選手 22名が選出され、海陽町からは7名が選出されました。



安室 丈 選手

★パリオリンピック
特定強化指定



上門 涼風 選手

★2023年強化指定選手



上山キアヌ久里朱 選手

★2023年強化指定選手
★パリオリンピック
特定強化指定



金沢 太規 選手
(海部高校2年)

★2023年強化指定選手



金沢 呂偉 選手
(日本大学2年)

★2023年強化指定選手
★パリオリンピック
特定強化指定



黒川 楓海都 選手

★2023年強化指定選手



黒川 日菜子 選手

★2023年強化指定選手
★パリオリンピック
特定強化指定

海陽町体協サーフィン部から選手が
2024年パリオリンピックに出場します。

試合結果

<プロの試合>

* JPSA 第1戦さわかみ種子島プロ 4月10日～13日 鹿児島県種子島 竹崎海岸
メンクラス 3位 金沢 呂偉(日本大学スポーツ科学部2年)

令和5年度 海陽町伝統文化継承・地域活性化等補助金事業募集要領

1. 事業内容・目的

町民の自主的な地域活動の促進を図るため、伝統文化継承や地域活性化につながる社会教育活動、又は地域的な共同活動（以下「地域活動」）を行う分館に対して、補助金を交付します。

地域住民による主体的な地域づくりを支援し、人と人との絆、地域とのつながりを強化することを目的としています。

2. 補助金額

1分館当たり1年度5万円以内の額
 予算総額450万円（5万円×90分館）

3. 補助対象となる地域活動

- (1) 地域住民が主体となって行う年中行事や祭事など、伝統文化継承や地域活性化につながる分館活動
 - (2) 分館などで行う地域の環境整備作業など、地域的な共同活動
- ※7月中旬頃から各分館へご説明させていただく予定です。

4. 問い合わせ先

海陽町教育委員会 地域つながり課 地区公民館各担当者まで
 海陽町四方原字杉谷73 電話：0884（73）3100

令和5年度 海陽町公民館地区館長及び担当者名簿

地区	地区公民館長	地区公民館担当者
川 東	つじ よしあき 辻 芳昭	さいとう まこと 齋藤 誠
川 上	なり た あいじ 成田 愛治	べっぶ ゆうか 別府 優香
浅 川	おおひがし まさと 大東 正人	ぐんじ さなお 郡司 早直
穴 喰	ゆ き かずき 由木 和幾	いちもり あきこ 一森 章子
海 部	の いち としはる 乃一 俊治	あさま りょう 浅間 了

【順不同】



茶つみをしたよ、おいしかったよ！

毎年、幼稚園の裏山で八十八夜にはお茶つみをします。今年もたくさんつみました。

5月2日茶摘み 「葉っぱ柔らかいね。」



炊って、揉んで、「おいしくな一れ！」

5月24日 参観日で交通安全教室をしました。保護者の方と一緒に交通ルールを守って道路を歩きました。そのあとに、みんなで新茶を飲みました。



「茶つみ」の手遊びもしたよ

穴喰俳句 五月例会より

遠よなぐもりさがる昭和平成霾ぼり

間戸谷恵子

小手毬や今日いちにちをよく笑ひ

外山千佳

朧夜や濃い珈琲とミステリー

川野佳代

初夏の水平線や投票日

高戸眞理子

若者はみんな都会へ鯉幟

元木朱子

こいのぼり立て山峡の一軒家

長岡達江

夏燕四国山脈越えて来し

寺崎照代

風光るとれとれ市の午前九時

新居駿也

一日を大事に生きてはや五月

梅田千恵子

ささやきのやうな木洩れ日花は葉に

住登美鶴

筆はこぶ少女の髪に五月来る

朝賀ます美

若葉風ボタンを一つ外さうか

新井久実

春の山金平糖を十粒づつ

木下野生

海南俳句

前歯なき笑顔はじけて入学す

谷口洋根子

嫁の来て賑やかになる田植えかな

田中霜月

葉をたたく音が目覚まし春の雨

山本半途

自ずから散る花びらの風情かな

橋本 堇

早乙女の消えし田圃の機械音

新居利之

惜春や何もせぬまま一日すぐ

木村みちよ

城山で先人偲び花見かな

吉野住人

野ばら咲く小径いよいよ狭くなり

吉田なずな



海部俳句会

海の日や	海に生きたる	友想う	津田	一
川へ落つ	水音太し	夏来たる	西本	公明
月も星も	煌めき増えゆく	大宇宙	榊原	礼子
椎の花	飯盛る風情	神の杜	南	歌子
晚鐘や	藤の花散る	石だたみ	元木	美枝子
明日は明日	今日を煩う	暑さかな	川野	照美
五月雨や	核なき世界	祈りけり	佐藤	美代子
背を向けて	蛇見つけけり	今日の月	宍戸	道子
手から手に	移し渡せり	恋蛍	濱川	雅男
峠道	釣り糸垂れる	ウラシマソウ	村田	恵巳
虎が雨	阪神首位は	夢の夢	宍戸	保夫

A weed in the garden, How curious life can be,
Hawks on the wing.
夏草や 仰ぐ天空に ホーク舞う 関山無門

海陽短歌会

霏霏として降るさみだれに気負い立ち定植茄子につぼみつき初む 細野綾子

濡れそぼつ桜のしづく受くる傘重み感じてゆっくり歩く 小笹仁子

春の野に時は来たりて枯草の布団の中に蕨萌えたり 桑村未貴子

春をよび様がわりする万象に芽吹く力の美しき彩り 大久保スエ子

人生のひとときだけをふれあいし人らよのちの暮らしは知らず 土谷公代

口笛で鳴き声まねて応戦す負けじとばかり鶯の鳴く 蛭子美恵子

青葉濃き茶畑に立つ亡き父母が近く思ほゆ茶葉を摘みつ 栢岡節子



ふえふきし
第27回「俳句の里」山梨県笛吹市
全国小学生・中学生俳句会



- ◆部門・小学生部門・中学生部門
- ◆条件・一人一句
(季語が入っているもの・自作で未発表のもの)
- ◆応募方法
所定の投句用紙(笛吹市HPに掲載)に丁寧に記入の上、
・学校応募・「名前(ふりがな)」「学校名」「学年」を記入し学校へ提出。
・個人応募・「名前(ふりがな)」「学校名」「学年」「住所」「電話番号」を記入し下記投句先に応募。
- ◆参加料・無料
- ◆賞・○特別賞(9賞・各部門1名)
○特選(各部門5名) ○秀作(各部門11名)
○学校賞(各部門1名) ○佳作(各部門25名)
- ◆入選・作品集に掲載
- ◆締切・令和5年9月4日(月) 当日消印有効
- ◆作品集・入選までを対象とする
- ◆投句作・問い合わせ先
笛吹市教育委員会生涯学習課 俳句会係
〒406-0031 笛吹市石和町市部809-1
電話：055-261-3339 FAX：055-261-3340
アドレス：haikuR5@city.fuefuki.lg.jp

夏の海で学ぶ

海陽町海洋自然博物館
マリンジャム

3種類のアクティビティで 目線を変えて夏の海を感じる

要予約
お問合せ:竹ヶ島シーカヤック/0884-76-1401

立つ

ボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進んでいくのがSUP(サップ)。浮力が大きい専用ボードを使うので、性別や年齢を問わず初心者でも立つことができます。



座る

座って海の中を覗く事ができるのがシーカヤック。夏は魚の数が多く、にぎやかな海中をカヤックから観察したり、のんびりと海の風や匂いを感じながら竹ヶ島の自然をじっくり満喫できます。



浮く

水面に浮いて水中を覗き込めば、自由に泳ぎ回る魚たちやサンゴをはじめ多種多様な海の生きものを見る事ができます。



- 料金 ①SUP(スノーケリング込)/1人乗 6,000円 ②シーカヤック/1人乗 4,000円/2人乗 7,000円(スノーケルセット/お一人 1,000円) ③スノーケリング/お一人 3,000円 時間 午前・午後 2 回開催
- 開催期間 通年

海中観光船ブルーマリン号から 夏の海を観る

夏は海中が一番にぎやかな季節。普段とは違い婚姻色に変わる魚の色、幼魚と成魚の模様の違いなど夏の海には観察ポイントがたくさんあります。生きものが産卵する場面にも遭遇できるかもしれません。

●時刻表(所要時間40分)

1便 9:00 2便 10:00 3便 11:00 (4便 12:00)
5便 13:00 6便 14:00 7便 15:00 (8便 16:00)

- 料金 大人2,000円/小人1,000円 障害者等割引・半額/幼児無料



島の小さな水族館

- 入館料 大人(中学生以上)300円/小学生 200円

お問い合わせ
海洋自然博物館マリンジャム
0884-76-3100
営業時間 8:30~16:30/ 定休日 火曜日